



大垣市政・経済記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和8年4月6日（月）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農業経営課	就農研修係	若原 安藤	TEL 0584-53-0175
	就農支援係	横田 柳生	内線 4089 直通 058-272-8421 FAX 058-278-2686

令和8年度 岐阜県就農支援センター 研修者（第13期生）入所式について

県では、将来にわたって持続可能な強い農業づくりに向けて、担い手の育成・確保を推進しています。

「岐阜県就農支援センター」^{※1}では、県が開発した「トマト独立ポット耕栽培システム」^{※2}を活用した研修を行っており、これまでに30名の研修修了者が県内で就農しています。

このたび、同センターの令和8年度研修者（第13期生）の入所式を下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時** 令和8年4月13日（月） 14:00～14:40
- 2 場 所** 岐阜県就農支援センター 講義室
（海津市海津町平原1165 TEL:0584-53-0175）
- 3 研 修 者** 4名（県内出身者3名、県外出身者1名）
- 4 出席予定者** 研修者、来賓、関係機関・団体（行政、JA等）、県等 約20名
- 5 式 次 第**
- （1）開式
 - （2）主催者あいさつ
 - （3）研修者（第13期生）紹介
 - （4）記念品贈呈
 - （5）第12期生から激励の言葉
 - （6）第13期生から研修、就農に向けた決意、抱負
 - （7）来賓祝辞
県議会議員 もり まさひろ 森 正弘 氏
 - （8）閉式

※1 岐阜県就農支援センターの概要

- ・開設日／平成26年4月
- ・住所／海津市海津町平原1165
- ・敷地面積／23,343㎡
- ・施設規模・種類／
 - [生産実習施設]
 - ポット耕栽培ハウス：3,456㎡
(1,728㎡×2棟)
 - スマート農業モデル温室：432㎡
 - [事務・研修棟]
 - 事務室、研修室、検査診断室 等
 - [作業棟]
 - 出荷調整室、車庫、農薬等保管庫
- ・研修修了した県内就農者／30名



就農支援センター 事務・研修棟

※2 トマト独立ポット耕栽培システムの概要

- ・県農業技術センターが開発した技術
- ・1株1株を独立したポットで、自動制御の養液供給装置によりトマトを生産
- ・通常の土耕栽培に比べ高収量のため、経営の安定化を図ることが可能

(10aあたり)

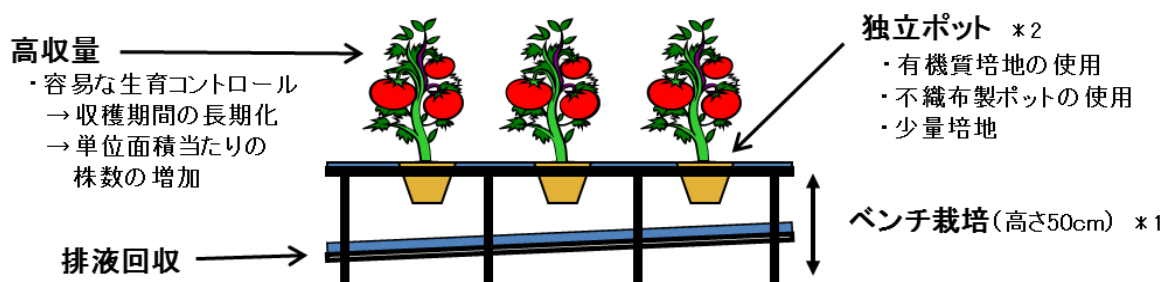
	栽植株数	目標収穫量
独立ポット耕	2,500株	30t
モデル温室	2,900株	34t



就農支援センター 研修ハウスの様子

- ・栽培方法がマニュアル化されているため、栽培技術の習得が容易

《システムイメージ図》



人に優しい

- ・接木栽培の必要がない
- ・収穫位置が高くなり、作業姿勢が改善される

環境に優しい

- ・培地量が少なく省資源である(12L/株)
- ・肥料の流出が少ない
- ・土壌消毒の必要がない

トマトに優しい

- ・病原菌の侵入を抑制できる *1
- ・独立ポットにより、病害の拡大を抑制できる *2
- ・培地の温度を調整できる *1・2